

Moodle マニュアル

リソース複製機能

名古屋工業大学
情報基盤センター

1. 概要

このプラグインは、あるコースのリソース複製権限を与えられた教員が、そのコースで作成された任意のリソースを、自分が管理しているコースのリソースとして複製、利用できるようにするプラグインです。

2. 設定方法

例として、教師 A が自分のコース「コース A1」に作成したリソースを、教師 B が自分のコース「コース B1」に複製する場合で説明します。

2-1. リソース複製を許可する側（教師 A）の設定

1)まず、「コース A1」内の「管理」ブロックにある「ロールの割り当て」をクリックします。

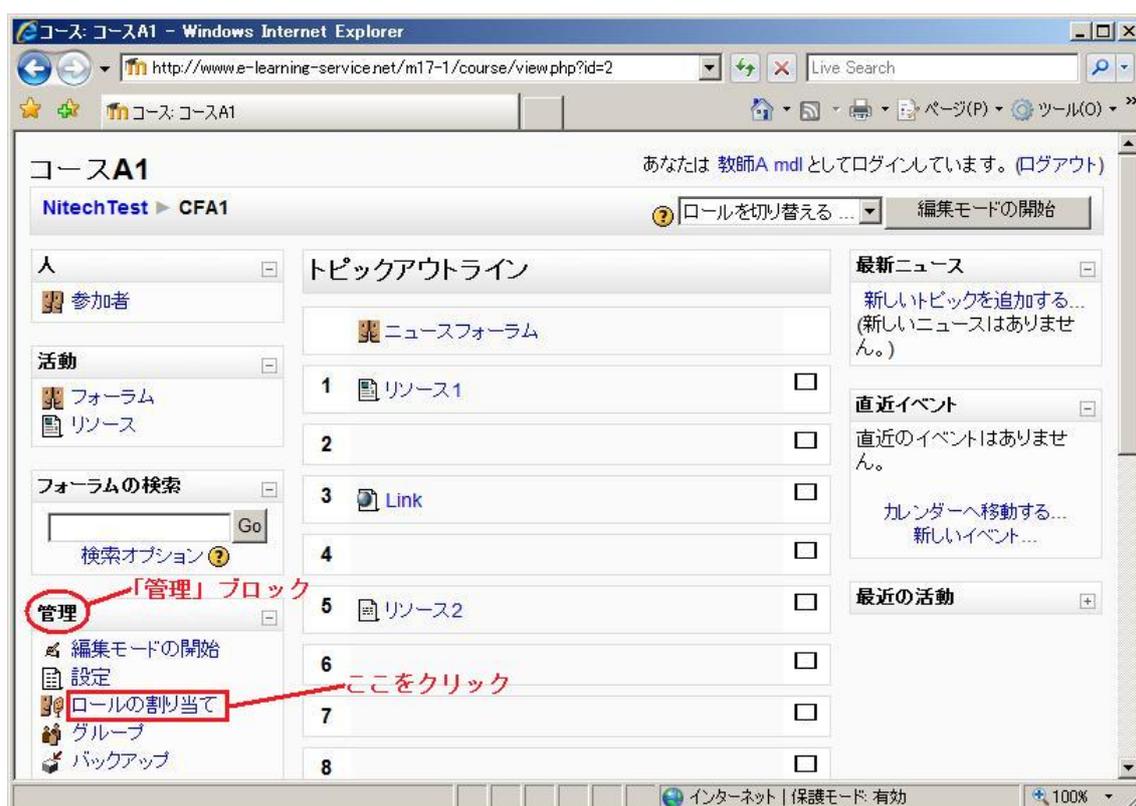


図 1 コース A1・ロールの割り当て (1)

2) 「ロールの割り当て」画面が表示されます。プラグインが正常にインストールされていれば、割り当てることができるロールに「複製許可ユーザ」が追加されているので、これをクリックします。



図2 コース A1・ロールの割り当て (2)

3)表示されたユーザの中から、複製を許可するユーザ（教師 B）を選択し、
ロールを割り当てます。

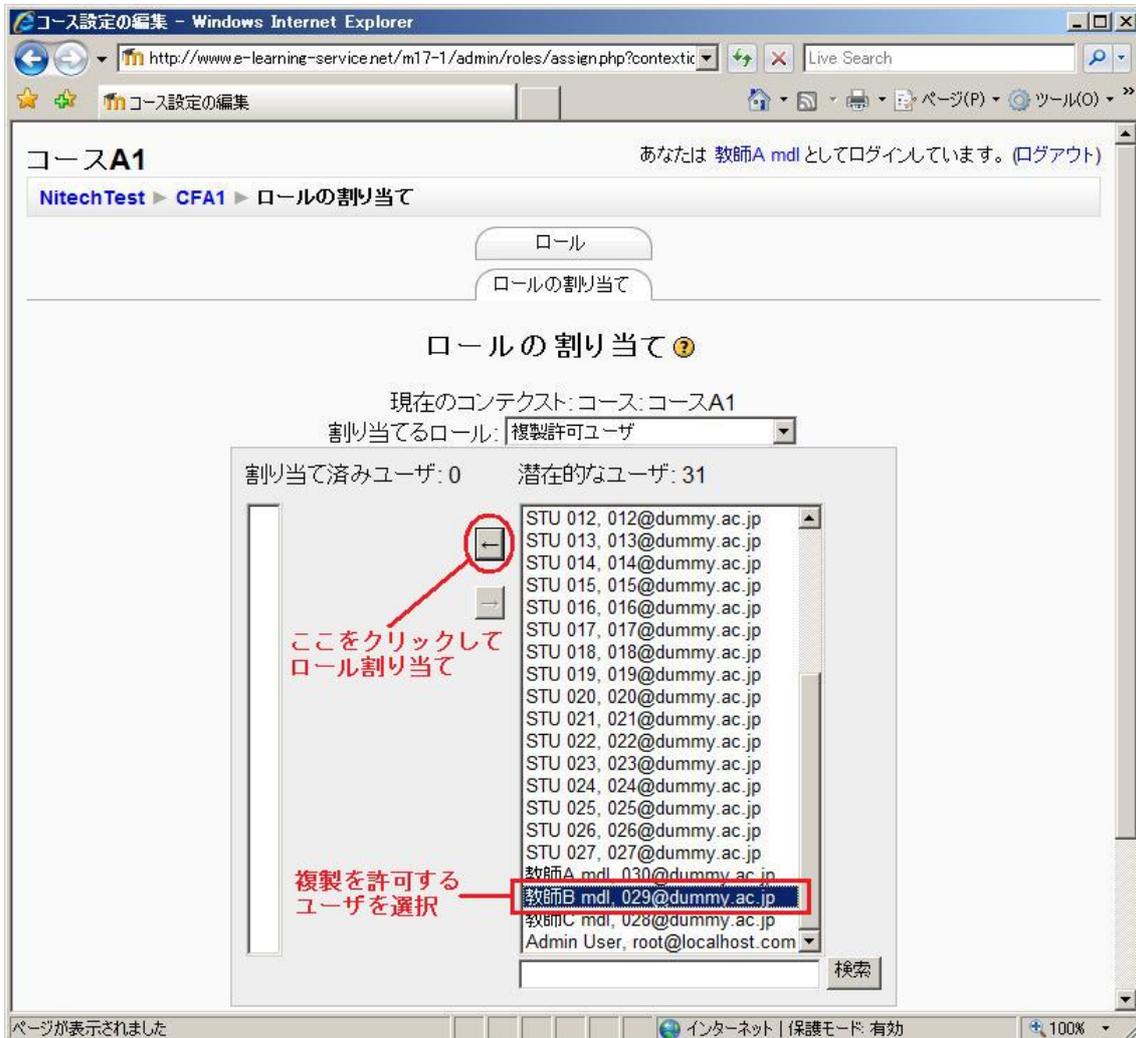


図 3 コース A1・ロールを割り当てるユーザの選択

ロールが割り当てられると、次のような画面になります。

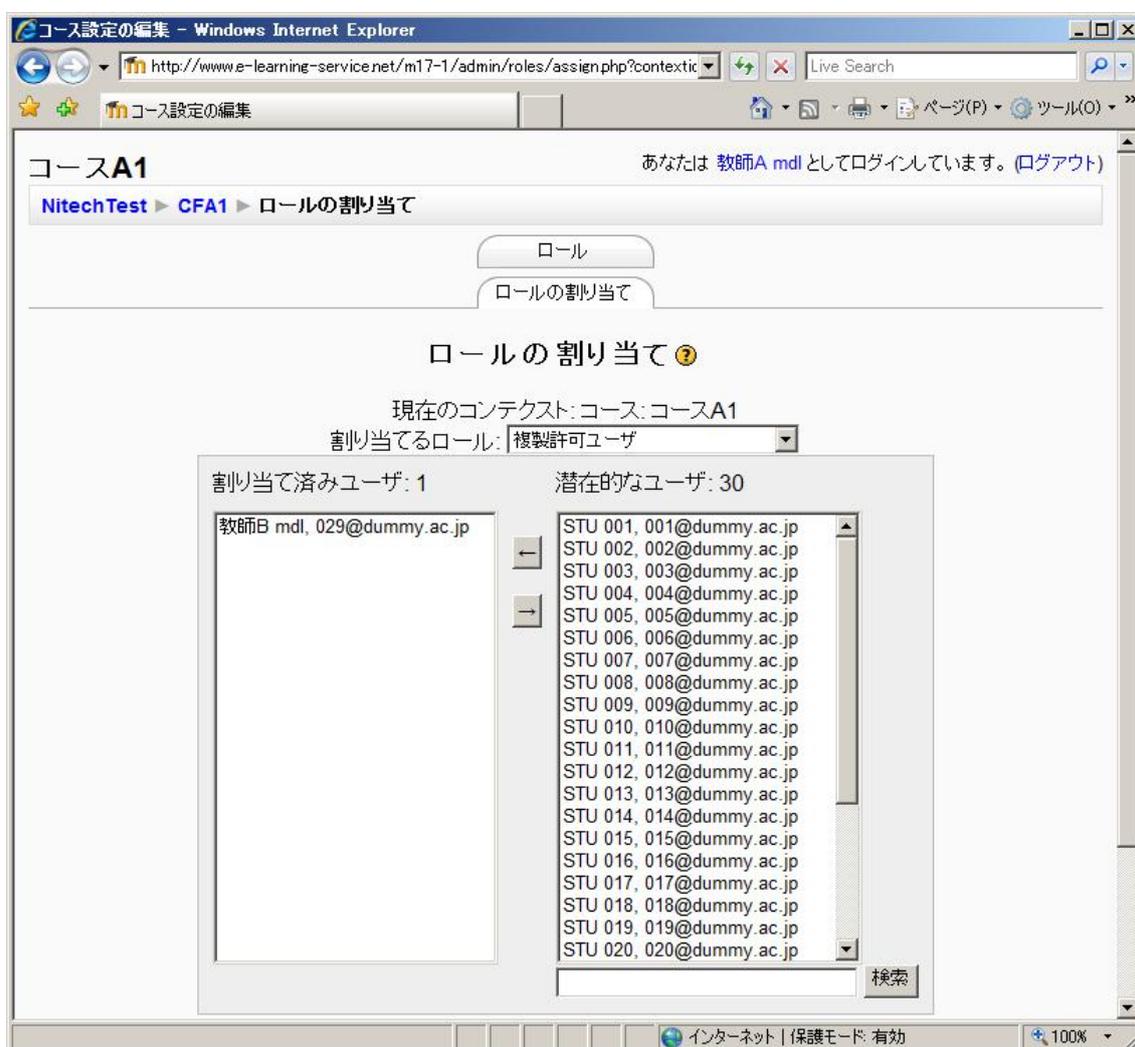


図 4 コース A1・ロールの割り当て完了

これで教師 A 側の設定は完了です。

2-2. リソースを複製する側（教師 B）の設定

1) 教師 A から「複製許可ユーザ」のロールを割り当てられたら、教師 B は自分のコース「コース B1」を編集モードにし、「リソースの追加」セクタから「リソースの複製」を選択します。

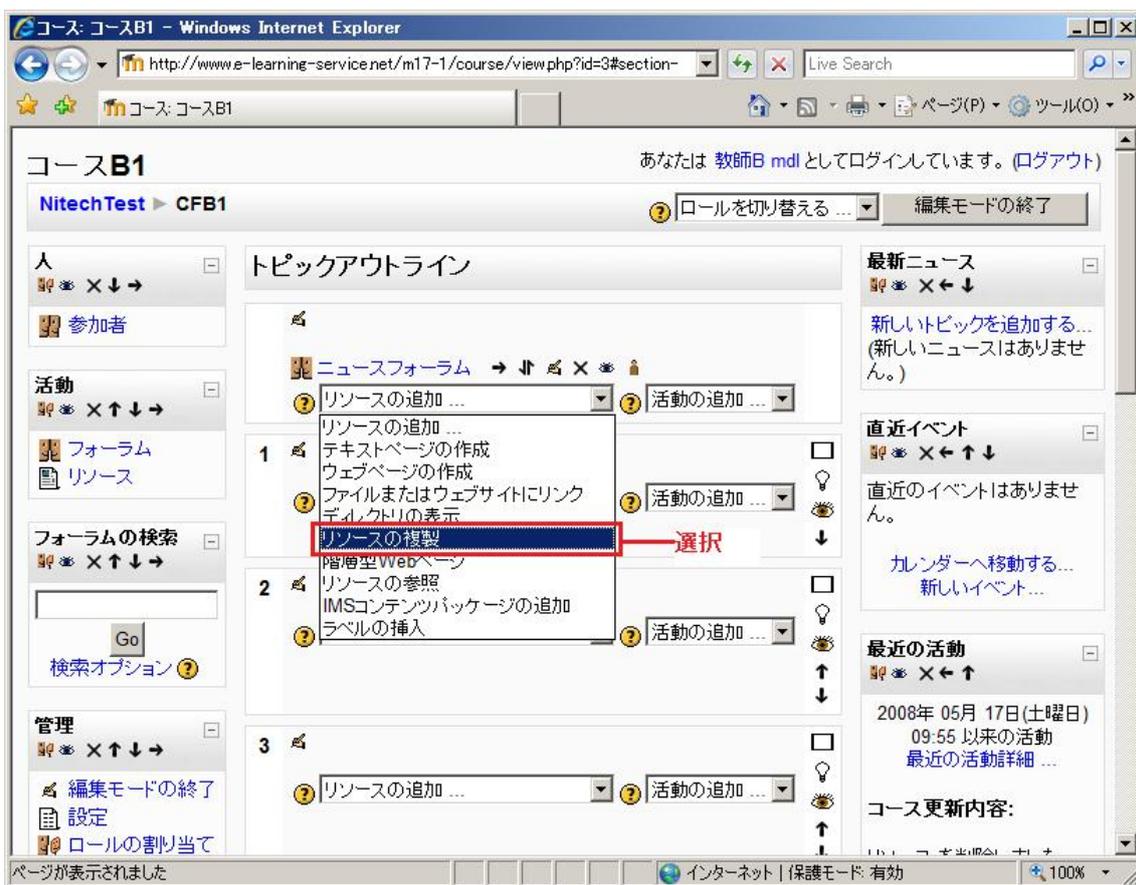


図 5 コース B1・リソースの追加

2) 「リソースの複製」設定画面が表示されます。「許可されたコース」のセレクト内に、教師 A から複製を許可されたコース「コース A1」が表示されるのでこれを選択し、「このコースを使用する」ボタンをクリックします。

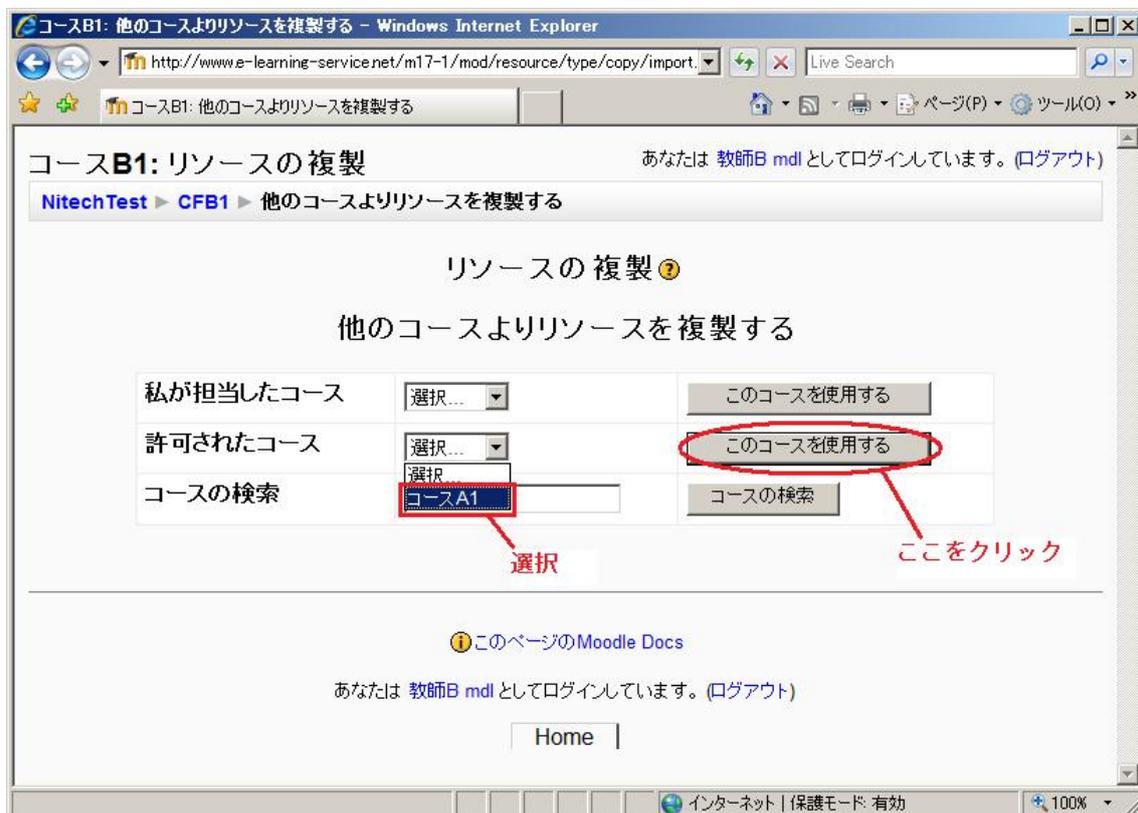


図 6 コース B1・複製したいリソースのあるコースの選択

3)設定画面に選択したコース内にある全てのリソースが表示されます。

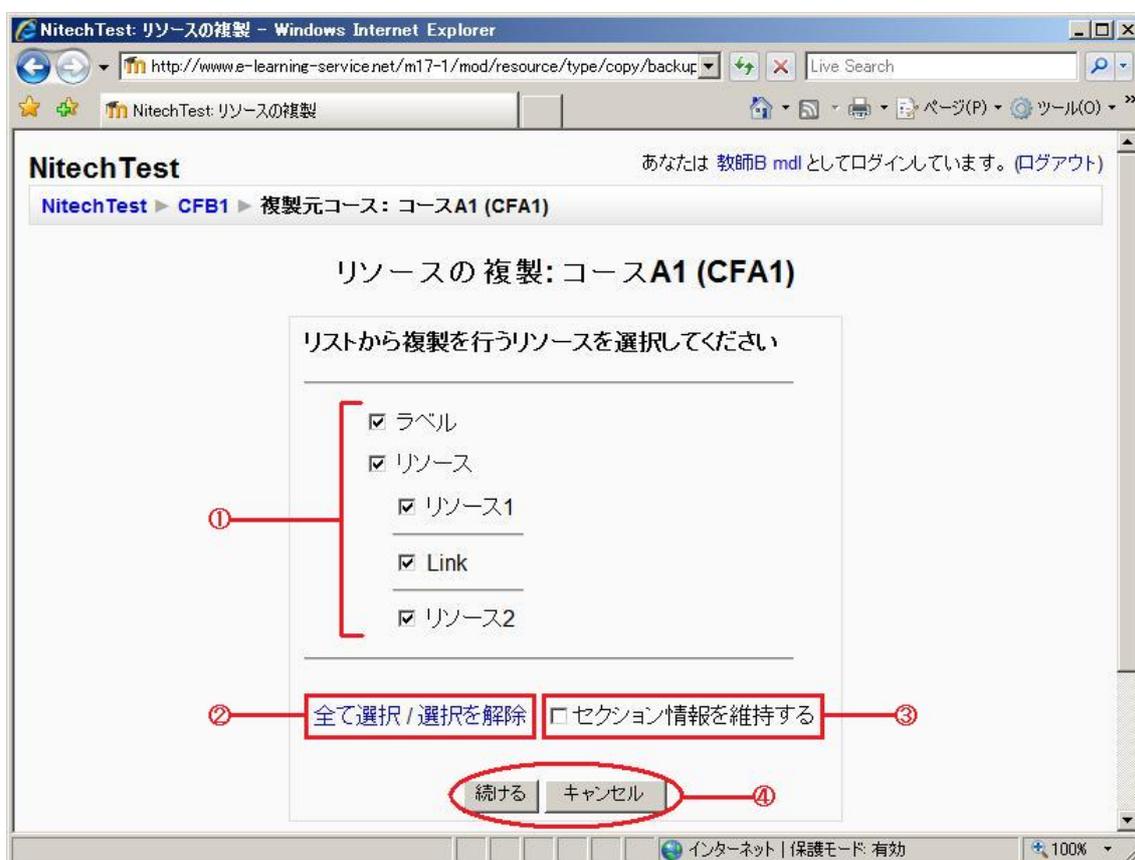


図 7 コース B1・複製したいリソースの選択

①複製したいリソースにチェックをつけます。初期設定では全てのリソースにチェックがつけられています。

②「全て選択」をクリックすると、表示されているリソース全てにチェックをつけます。「選択を解除」をクリックすると、全てのチェックをはずします。

③ 「セッション情報を維持する」にチェックをつけると、リソースは元のコースと同じ位置に複製されます。



図 8 コース B1・リソース複製完了（セッション情報維持）

チェックをはずしていると、リソースは自分のコースの「リソースの複製」を選んだセクションに、一纏めにして複製されます。



図 9 コース B1・リソース複製完了 (セクション情報維持せず)

※複製元である「コース A1」より「コース B1」のセクション数が少ないときに「セクション情報を維持」にチェックをつけると、「コース B1」に存在しないセクションにリソースを複製するような事態が起きることがあります。その場合、存在しないセクションに複製されようとしていたリソースは、「リソースの複製」を選択したセクションに複製されます。

例：

- ・「コース B1」のセクションが 5 つだとすると、「コース B1」には「コース A1」の「リソース 2」を複製できるセクションが存在しません。



図 10 存在しないセクションへのリソース複製（複製前）

- ・「コース B1」を編集モードにし、「最上段のセクション」で「リソースの追加」セクタから「リソースの複製」を選択し、設定画面で「セクション情報を維持」にチェックしたとすると、存在しないセクションにある「リソース 2」は「コース B1」の「最上段のセクション」に複製されます。



図 11 存在しないセクションへのリソース複製（複製後）

- ④設定が完了したら、「続ける」ボタンをクリックして次へ進みます。何も設定せず終了する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

4) 図 7 の④で「続ける」ボタンをクリックすると複製するリソースの確認画面が表示されるので、その設定でよい場合は「続ける」ボタンを、設定を変える場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

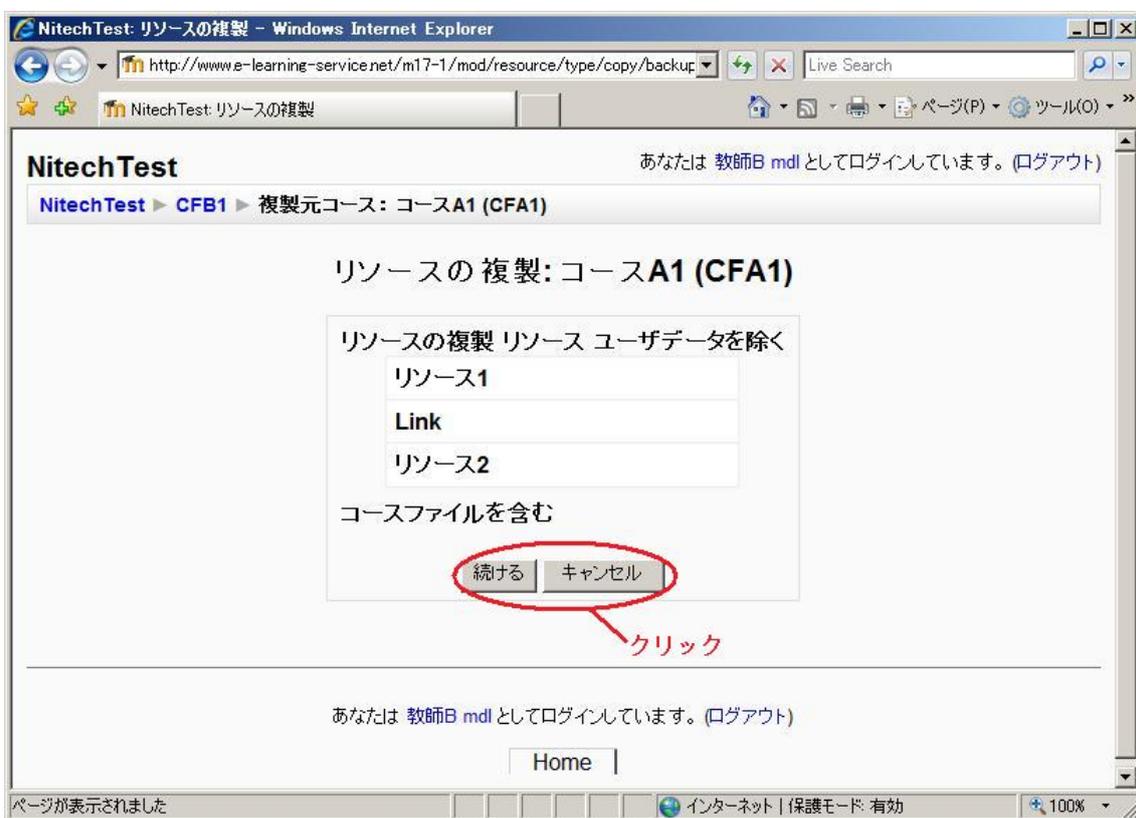


図 12 コース B1・複製するリソースの確認

5) 図 12 の画面で「続ける」をクリックすると、複製元コース（コース A1）のコースデータのエクスポート情報画面が表示されます。「続ける」ボタンをクリックします。

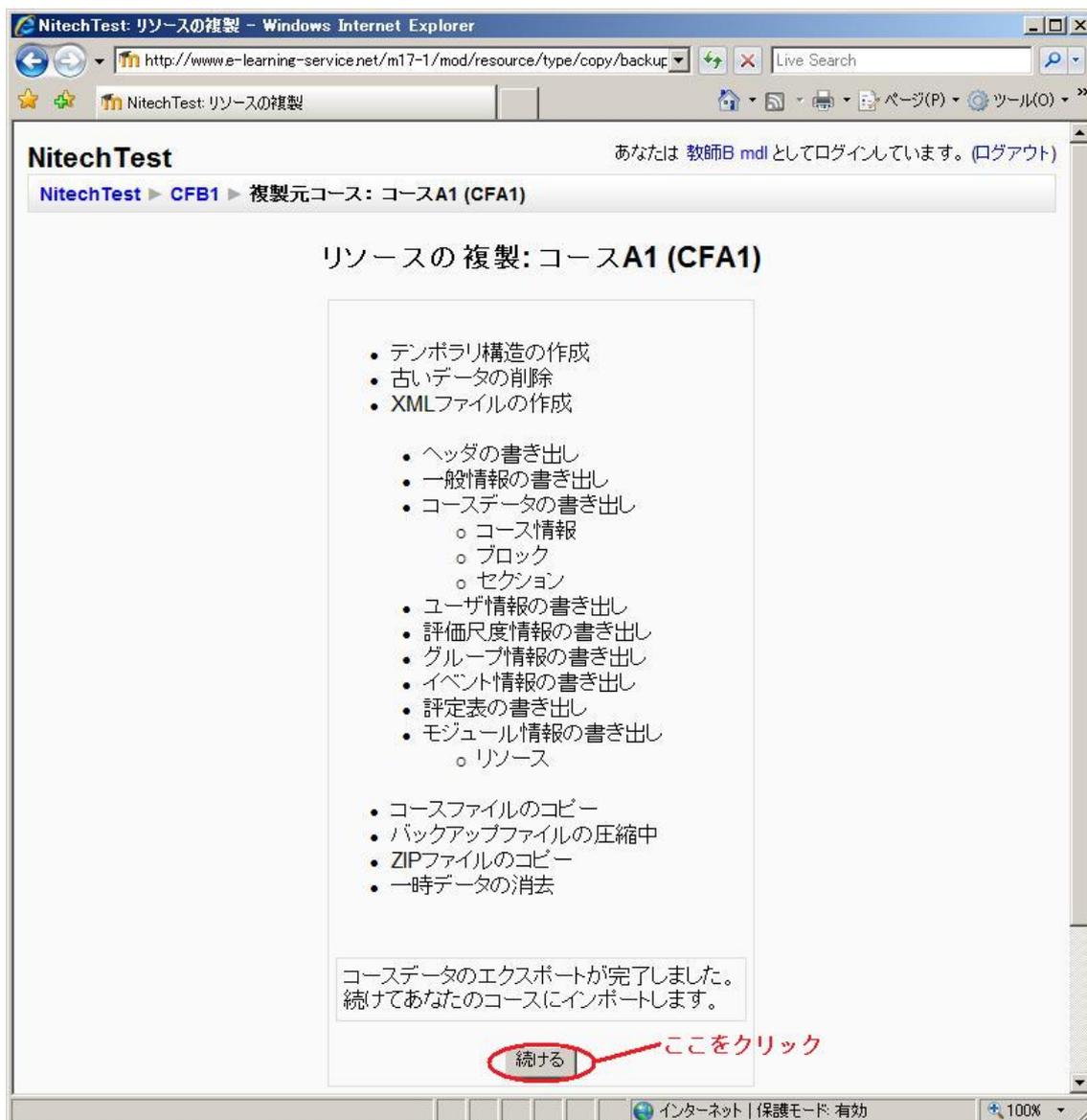


図 13 コース B1・コース A1 のデータのエクスポート情報

6)複製が成功すれば、「コース B1」へのデータのインポート完了画面が表示されます。「続ける」ボタンをクリックすると、「コース B1」に戻ります。



図 14 コース B1・コースデータのインポート完了

3. 複製後のリソース

複製したリソースは複製元から独立した物となるので、自分が作成したリソースと同じように編集することが可能です。



図 15 コース B1・複製したリソースの編集